

平成十八年六月五日提出
質問第三〇四号

村山談話に関する質問主意書

提出者
長妻
昭

村山談話に関する質問主意書

先の大戦に関する戦争責任について、数々の国会質問がなされているが、政府は明確な答弁を避けている。戦後六十年以上経過した今でも責任の所在は、政府によって明らかにされていない。過ちが再び繰り返される危惧を持つ。

過ちを二度と繰り返さないためにも、政府の責任の所在を明らかにしなければならぬ。政府の真摯な答弁を期待して質問する。

一 平成七年の村山富市内閣総理大臣談話（いわゆる「村山談話」）は、現在でも政府の公式見解と解してよろしいか。

二 村山談話の「わが国は、遠くない過去の一時期、国策を誤り」とある部分の「国策を誤り」とは、具体的に、どのようなことを指すのか。

誤った国策とは例えば、対米開戦は含むのか、否か。

三 国策を誤った原因はどこにあったと考えるか。

四 国策を誤った原因が分からず、現在も統治・官僚機構の中に問題が残されているとすれば、過ちが再び

繰り返される可能性がある。かつて国策を誤った原因は現在も統治・官僚機構に問題として残されているとお考えか。内閣の見解を問う。

右質問する。